

保護帽と着装体は定期的に交換しましょう！

保護帽は、人体の中で最も重要な頭部を保護するものです。帽体・着装体・衝撃吸収ライナーの全体のバランスによって安全を確保しています。下記の「20のチェックポイント」を使い、各項目に該当するものは直ちに交換してください。

使用期間の長くなった保護帽は、安全のため異常が認められなくても交換をおすすめしています

ABS・PC・PE
(熱可塑性樹脂)
使用開始から
3年以内

FRP
(熱硬化性樹脂)
使用開始から
5年以内

着装体は衛生面も考慮し、1年くらいで交換してください。異常が認められた場合は、直ちに交換してください。

使用開始から
着装体 **1年以内**

ヘルメットの材質・品番の確認の仕方

型式検定に合格している保護帽には全て、表示ラベルが帽体内側に貼付されています。このラベルを見れば、ヘルメットの材質・品番が確認できます。

■ 表示ラベルの一例

品番	交換用の着装体・衝撃吸収ライナーをご注文の際は、表示ラベルに記載の「型式名称」をご指定ください。
(例)	型式名称：1330-BZV-SE
保護帽	帽体材質 ABS
検定取得年月	労(平 24.4) 検
検定番号	(1) TH3965 (2) TH3696
製造業者名	製造業者 (株)谷沢製作所
製造年月	製造年月 24.6
区分	(1) 飛来落下物用 (2) 墜落時保護用

帽体の材質

保護帽の交換の目安は材質ごとに異なります。表示ラベルに記載の「帽体材質」をご確認ください。

20のチェックポイント

下記のような保護帽及び付属品は性能が低下していますので、使用しないでください。

■ 帽体 (FRP製帽体/ABS、PC、PE等の熱可塑性樹脂製帽体)

- ① 縁に欠損または亀裂のあるもの
- ② 衝撃の跡が認められるもの
- ③ すりずきが多いもの
- ④ 汚れが著しいもの
- ⑤ メーカーがあげた以外の穴があいているもの
- ⑥ ガラス繊維が浮き出しているもの (FRP製)
- ⑦ 着装体取り付け部に亀裂があるもの
- ⑧ 著しい変色が認められるもの
- ⑨ 帽体と着装体取付部に破損、減失等があるもの
- ⑩ 変形しているもの

一度でも衝撃を受けたものや、改造されたものは、外観に異常がなくても性能が低下していますので、使用しないでください。

■ 着装体・あごひも

- ⑪ 使用者が改造したもの
- ⑫ 環ひもが伸びたり著しく汚れているもの
- ⑬ 縫い目がほつれているもの
- ⑭ ヘッドバンドが破損しているもの
- ⑮ 汗、油等によって著しく汚れているもの
- ⑯ アゴひもが損傷したり著しく汚れているもの
- ⑰ ハンモックが損傷しているもの

■ 衝撃吸収ライナー (墜落時保護用のみ)

- ⑱ 熱、溶剤等によって変形しているもの
- ⑲ 著しく汚れているもの
- ⑳ きず、割れが著しいもの

※イラストは異常な状態を分かりやすくするために誇張して表現してあります。

東和ユニフォーム株式会社

〒815-0035 福岡市南区向野2丁目9番17号 TEL (092)512-0888
ホームページ <http://www.towauni.co.jp> E-mail info@towauni.co.jp